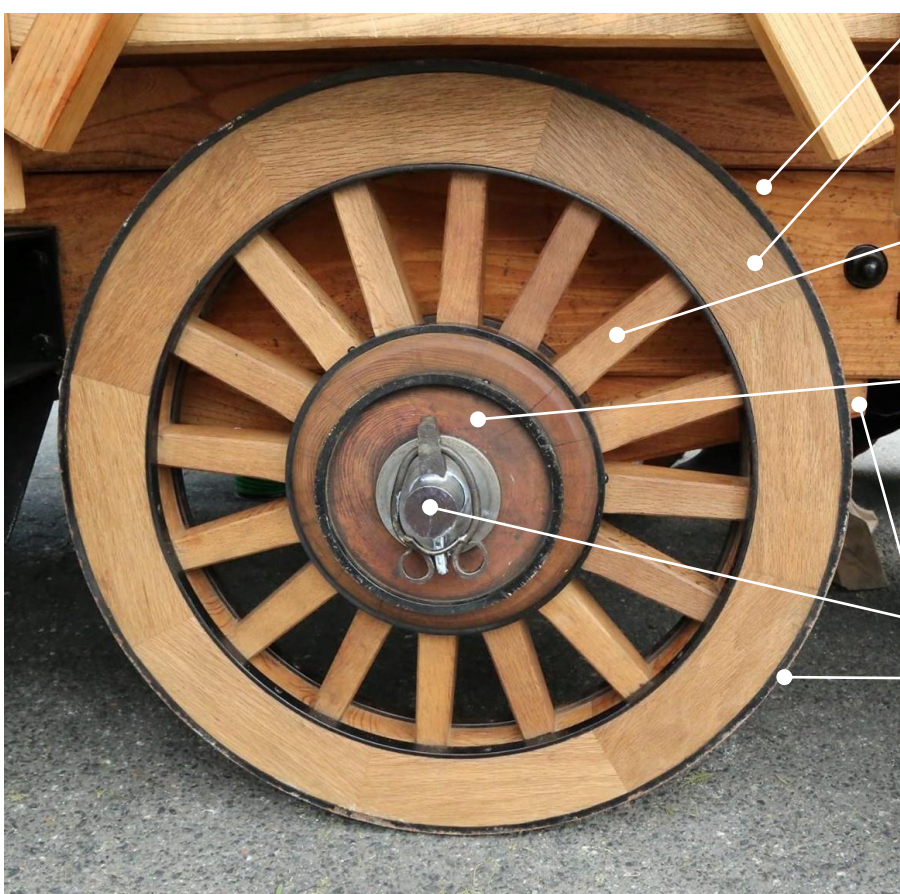
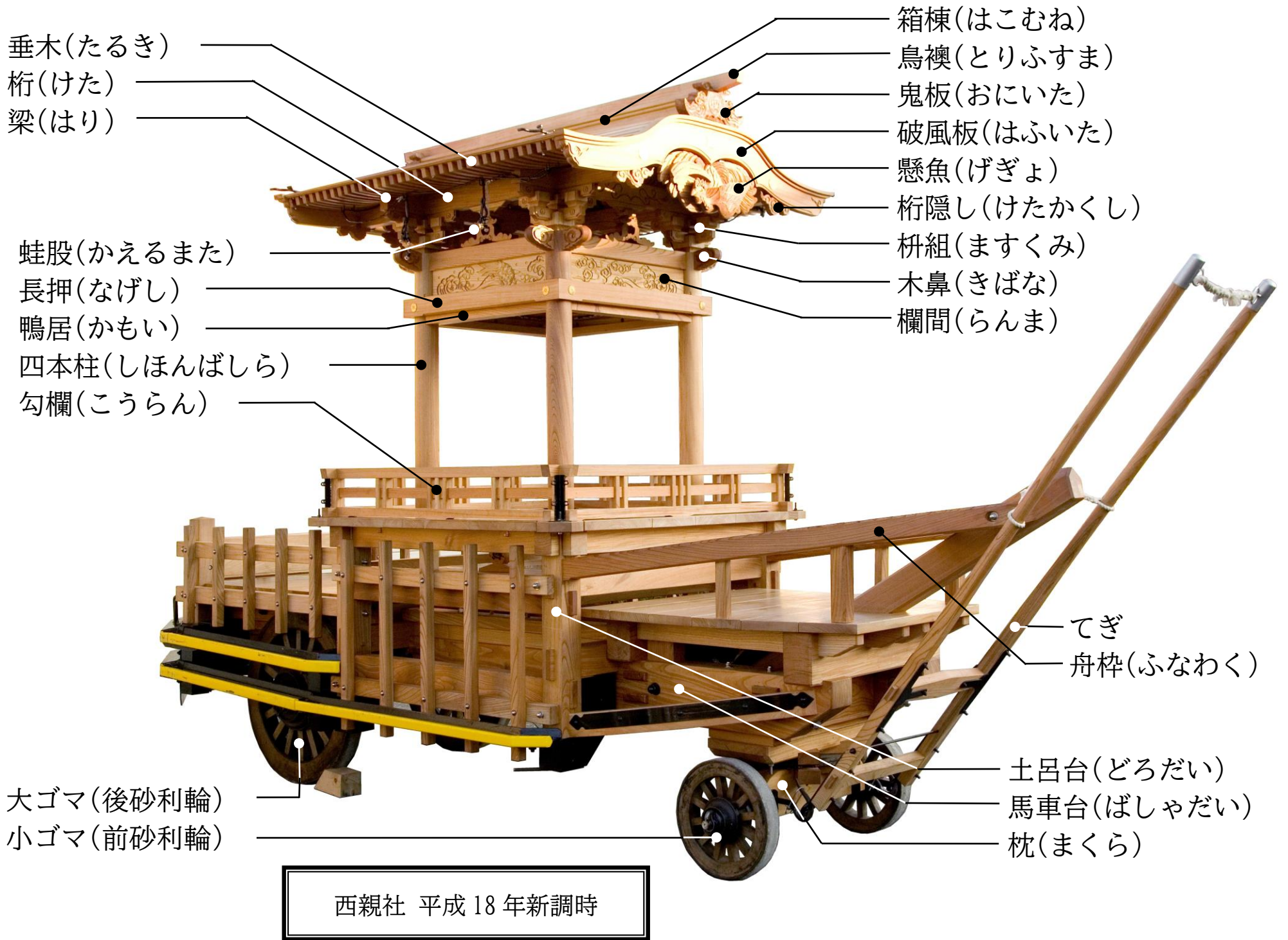


だんじりの各部名称



馬車台

輪木(りんぎ)

羽板(はねいた・はいた)とも言い、主に檜の木が使われます。

後光(ごこう)

車輪のスポークで、仏像の背中から放射される光に似ていることから、主に檜の木が使われます。

蕪(かぶら)

蕪に似ていることから、写真では隠れていますが車軸を受ける部分は鋳物製の“釜(ブッシュ)”が嵌め込まれています。蕪は、主に樺が使われます。

猫/猫木(ねこ/ねこぎ)

車軸(シャフト)

鉄輪/輪金

鉄輪の嵌め方は“焼き嵌め”といい、鉄を真っ赤になるまで焼くことで鉄は膨張し、コマに嵌めるとすぐに水をかけ一気に冷やします。鉄は収縮しガッチリと締まります。

西親社 平成 20 年コマ(砂利輪)新調時